計測制御系統施設	沸騰水型発電用原子炉施設に係るもの（発電用原子炉施設の運転を管理するための制御装置にあっては、次の事項に係るものを除く。）	1　制御方式及び制御方法 (1)　発電用原子炉の制御方式 発電用原子炉の制御方式、ほう酸水注入の制御方式、発電用原子炉の圧力の制御方式、発電用原子炉の水位の制御方式及び安全保護系等の制御方式 (2)　発電用原子炉の制御方法 制御棒の位置の制御方法、原子炉再循環流量の制御方法、ほう酸水注入設備の制御方法、発電用原子炉の圧力の制御方法及び安全保護系等の制御方法 2 (1)　制御棒の名称、種類、反応度制御能力、停止余裕、最大反応度価値（制御棒グループ及び一本の別ごとに引抜く場合は、グループごとに記載すること。）、主要寸法、個数及び落下速度 (2)　ほう酸水の名称、反応度制御能力、組成、停止余裕、負の反応度添加率及び貯蔵量 3 次の事項 (1)　制御棒駆動機構の名称、種類、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、駆動方式、個数、取付箇所、駆動速度及び挿入時間 (2)　制御棒駆動水圧設備に係る次の事項	計測制御系統施設に係る機器（計測装置を除く。）の配置を明示した図面及び系統図 制御能力についての計算書（制御最大反応度価値、反応度停止余裕、負の反応度添加率、ほう酸及びほう素濃度水の貯蔵量並びにほう酸水の根拠に関する説明を併記すること。） 耐震性に関する説明書（支持構造物を含めて記載すること。） 強度に関する説明書（支持構造物を含めて記載すること。） 構造図 計測装置の構成に関する説明書、計測制御系統図及び検出器の取付箇所を明示した図面並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書 原子炉非常停止信号の作動回路の説明図及び設定値の根拠に関する説明書 工学的安全施設等の起動（作動）信号の起動（作動）回路の説明図及び設定値の根拠に関する説明書 デジタル制御方式を使用する安全保護系等の適用に関する説明書 発電用原子炉の運転を管理する制御装置に係る説明書 中央制御室の機能に関する説明書、中央制御室外の原子炉停止機能及び監視機能並びに緊急時制御室の機能に関する説明書（安全弁の吹出量に関するものに限る。） 設計及び工事に係る品質管理の方法等に関する説明書

	イ　ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用温度、最高使用圧力、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。） ロ　容器の名称、種類、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。） ハ　種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。） ニ　主要弁の名称、種類、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。） ホ　主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料（常設及び可搬型の別に記載し、可搬型の場合は、取付箇所を付記すること。） 4 ほう酸水注入設備に係る次の事項 (1)　ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。） (2)　容器の名称、種類、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）